

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 豊中市立上野小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒560-0013

大阪府豊中市上野東2-8-8

E-mail: t\_uenosho@city.toyonaka.osaka.jp

Website: http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/ueno/

児童生徒数：男子 582 名 女子 514 名 合計 1096 名

児童・生徒の年齢 6歳～10歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

#### 4. 活動内容

##### (1) 1年間の主な活動内容

1年	テーマ ねらい 内容	だいすき にほんのおはなし・うた・あそび お話やうた、遊び等、日本に昔から伝わるものを知り、親しむ。 (1) 民話(絵本)を通して、日本に古くから伝わるものについて知る。 (2)七夕かざり・折り紙等日本に古くから伝わる文化について知り、体験しながら自国文化の理解を深める。
2年	テーマ ねらい 内容	知りたいな 知らせたいな! 世界のこと (1) 日本の神話や伝承話を通して「伝統的な言語文化」に親しむ。 (2) 帰国保護者会の人から、いろいろな国のことを聞く。 「いろいろな国を知ろう」では、帰国保護者会などの聞き取り学習を実施し、調べ学習をする。それをまとめて学年発表会を持つ。(イギリス・中国・ケニア・アメリカ・ジャマイカ)
3年	テーマ ねらい 内容	やさしい町 上野 ~まちがすき、人がすき~ 日本や他国のバリアフリー事情等について知り、だれにでもくらしやすいまちについて考える。 (1) 自分達の住んでいるところのいいところを探す。 (2) 日本や他国のバリアフリーについて。・・・帰国保護者会等の聞き取り学習。 「やさしいまち上野」から「世界のやさしいまち」を知ろう。 外国はどうしているの?・・・世界のバリアフリーについて。 帰国保護者会などの聞き取り学習・・・9月実施。その後学習を深め、学年発表会へつなげていく。(ドイツ・イギリス・フランス・タイ・アメリカ) (3) 外国語体験
4年	テーマ 内容	広げよう! エコライフ (1) ゴミについて調べよう! (2) 水について調べよう! (3) 身近な環境について考えよう!
5年	テーマ ねらい 内容	生命を支える食 我が国の米作りの様子や米文化に気づくとともに、世界各国にもそれぞれの風土を生かした主食があり、我が国同様そこに住む人々の生活に深く根ざしていることを知る。 (1) 主食である米について知ろう (2) 自分たち食生活を見直そう (3) 世界の国々の料理を調べよう (4) 世界の食糧事情を考えよう
6年	テーマ ねらい 内容	いのちの視点から平和を考える 平和学習を通して、いのちの尊さについて考える。また、日本の歴史から世界の諸問題に目を向けて学習を深め、国際的な視野に立って考える力を育成する。 (1) ヒロシマについて (2) 戦時下の暮らしや状況を知る (3) 世界の戦争について (4) 世界の子ども達について (5) 平和の意味を考える

## ☆ 本年度の国内・国際交流事業について

本校は、2009年6月に、豊中市で初めて（大阪府でも小学校では初めて）ユネスコスクールに加盟した。広い視野と豊かな心を育むためESD（持続発展教育）に積極的に取り組み、実践的な行動力につながるように心がけた。ユネスコスクールの連携を活用して帰国児童など異文化を背景にもつ児童、また全ての児童が尊重されるような学校体制を目指した。

### （1）ねらい

- ① 広い視野と主体的な行動力を育成するため、日本および世界各地の子ども達と交流し、その国や地域の文化を知るとともに日本文化等を発信する。
- ② ESDなどの学習課題や教科学習を交流先の児童と連携して取り組む。
- ③ 異なる言語・文化環境の人々とコミュニケーションを図ろうとする意欲をもつ。
- ④ 教材や授業方法等を交流することで、本校教育の一層の深化を図る。

### （2）国内・国際交流先

- ① 韓国・巨済市・菊山初等学校（ユネスコスクール加盟校、2010.8.27.フレンドシップ提携校）

4年生の児童がゴミや水等の環境についてまとめた新聞を送った。

- ② アメリカ・サンマテオ市・パークサイド小学校（2012.5.フレンドシップ提携校）

豊中市とサンマテオ市の姉妹都市提携50周年記念式典がサンマテオ市であり、上野小からは奥井校長先生が参加した。その際、パークサイド小学校も訪問し、1,2年生及び帰国児童の図工作品や手紙を手渡した。

- ③ 東日本大震災・被災地の学校

宮城県気仙沼市教育委員会より紹介された気仙沼市立面瀬小学校へ、児童会でアルミ缶を集めて売ったお金と募金で集まったお金を義援金として届けた。

- ④ ニュージーランド

6年生でニュージーランド・カンタベリー大学から教育実習生を受け入れた。

授業参観後、ニュージーランドの大学生からニュージーランドの生活、文化、気候、流行しているスポーツなどを紹介してもらった。6年生からも英語で質問できる児童は英語で質問するなど進んでコミュニケーションをとろうとしていた。通じた時の喜びを知り、外国語を身につけようとする意欲も高まった。

- ⑤ 大阪ASPnet（ユネスコ・スクール・ネットワーク）

2009年秋より大阪ユネスコスクール・ネットワークが立ち上がり、月1回程度のコーディネーター会議を行っている。（メンバーは大阪ユネスコスクール・ネットワークに賛同する近畿の大・中・小学校）各学校の実践交流をはじめ、大阪独自の取り組みの企画・運営を行なっている。2010年8月に実施した「学びの交流会2010」では、小学校・中学校・高等学校・大学の児童・生徒・学生たちが校種を超えて学び合い、新しい取り組みとして全国でも注目を集めた。2011年8月に実施した「ア



「アジア／太平洋 小・中・高・大学生ESDワークショップ 2011」では、アジアの5カ国と全国各地の子どもたちが交流し、共通の未来を担う『若者世代』としての連携を深めることができた。今年度は、2014年11月開催予定の「UNESCO ASPnet 高校生ESD世界フォーラム」に向けて、高校生による高校生のための「UNESCOアジア・太平洋地域高校生ESDフォーラム」が堺市で開催された。そのため小学生の参加はなかった。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ( )